

JIS K 7391非拘束形制振複合はりの振動減衰特性試験方法（講座と実習）

開催日 : 2011年7月27日（水）10:00~17:00

開催場所 : (株)御園座 名古屋市中区栄1-6-14 5階会議室

講習会資料



(1) テキストについて

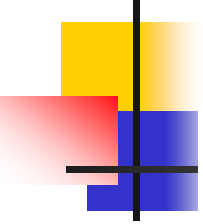
- ・ JIS K 7391 制定の趣旨・経緯 井上茂((財)日本自動車研究所)
- ・ JIS K 7391「本文」 立石覚 (リオン(株))
- ・ JIS K 7391 と JIS G 0602の比較 中沢貞夫 (制振工学研究会)
- ・ JIS K 7391と粘弾性測定装置を使用した損失係数測定結果の比較
一粘弾性特性比較検討WG報告一 木村正輝(スペクトリス(株)ブリュエル・ケアー(事)
ブリュエル・ケアー・ジャパン)
- ・ JIS K 7391「解説1」, 「解説2」 大井克洋(スペクトリス(株)ブリュエル・ケアー(事)
ブリュエル・ケアー・ジャパン)



(2) 日本工業規格 JIS K 7391 : 2008



講習内容

- 
- JIS K 7391 制定の趣旨・経緯
 - JIS K 7391「本文」の説明
 - JIS K 7391 と JIS G 0602の比較
 - JIS K 7391 と粘弾性測定装置を使用した損失係数測定結果の比較
 - JIS K 7391「解説1」「解説2」の説明
 - JIS K 7391 の測定実習



JIS K 7391:2008

制定の趣旨・経緯



**(財)日本自動車研究所
井上 茂**



日本工業規格

JIS K 7391:2008

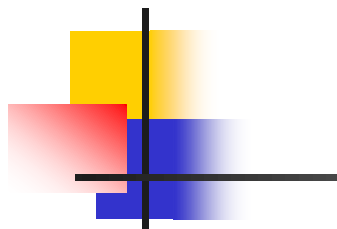


非拘束形制振複合はりの振動減衰特性試験方法



Test methods for vibration-damping property in damped composite beam of unconstrained type





JIS K 7391:2008

(本文)

リオン株式会社

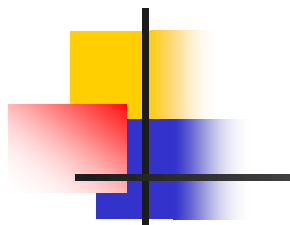
立石 覚



本文

目次

序文		1
1	適用範囲	1
2	引用規格	1
3	用語及び定義	1
4	試験方法	2
5	試験片	3
5.1	標準試験片	3
5.2	標準試験片以外の試験片	4
5.3	試験片の数	4
5.4	試験片の基材の加工精度	4
5.5	基材と制振材料との接着	4
6	試験手順	4
6.1	片持ちはり法	4
6.2	中央加振法	6
7	損失係数の算出及び表示	9
8	制振材料特性の算出及び表示	12
9	試験報告	15



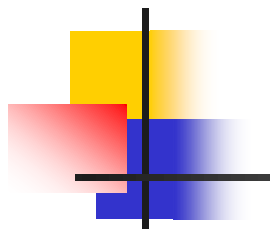
JIS K 7391と JIS G 0602の 比較



制振工学研究会

中沢 貞夫





JIS

UDC 669.14.018.2-41 : 620.178.5

G 0602



制振鋼板の振動減衰特性試験方法

JIS G 0602⁻¹⁹⁹³

**JIS K 7391と粘弾性測定装置を使用した損失係数測定結果の比較
—粘弾性特性比較検討WG報告—**

SDT

**スペクトリス(株) ブリュエル・ケアー(事)
(ブリュエル・ケアー・ジャパン)**

木村正輝

制振材料評価

はり法試験装置

原則 複合はり測定

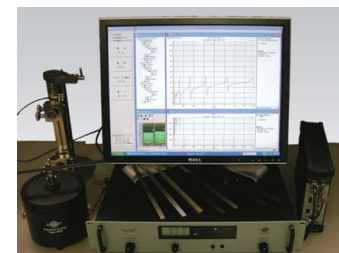
JIS K7391 制定 (2008年8月20日)

換算周波数ノモグラム

粘弾性測定装置

材料単体測定

JIS規格 (JIS K7244-xなど) に沿った測定



(例) B&K システム



(例) UBM システム



JIS K7391 解説1



スペクトリス(株)ブリュエル・ケアー(事)
(ブリュエル・ケアー・ジャパン)

大井 克洋

解説部の章立て(1)

- 1章 制定の趣旨
- 2章 制定の経緯
- 3章 審議中に特に問題となった事項
 - 3.1 工業標準の名称
 - 3.2 中央加振法
 - 3.3 温度一周波数換算則
 - 3.4 基材と制振材料の接着
- 4章 規定要素の規定項目の内容
 - 4.1 振動減衰特性
 - 4.2 振動減衰特性を表す指標
 - 4.3 試験片
 - a) 試験片の基材の加工精度